ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

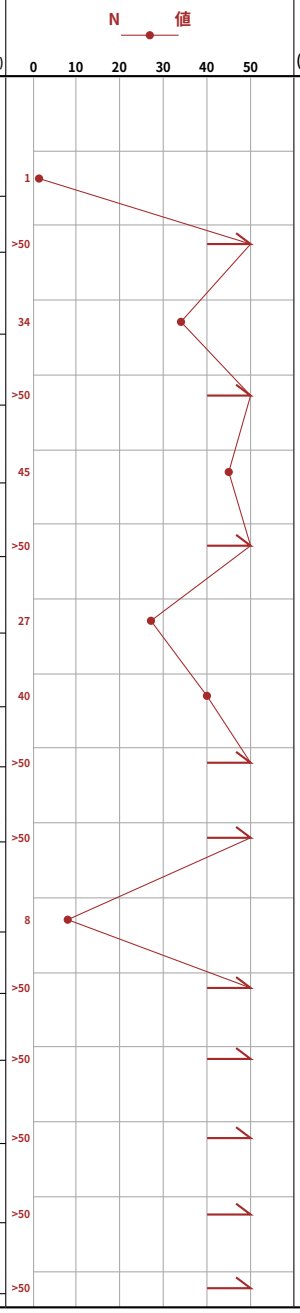
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.2（2号町道橋-右岸）	調査位置				北　緯	36 ° 24 ’ 42.0000 ”
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所　河川砂防部			調査期間	2008-01-15 ～ 2008-01-17	東　経	139 ° 53 ’ 59.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	55.54 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 10.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	17.26 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	54.24	1.30	1.30		埋土(礫混じりシルト)(Fl)	暗褐		軟らかい	含水・粘性ともに中位である φ100～200mmの玉石が点在		
	53.94	0.30	1.60		粗砂(CS)	暗褐	緩い		礫間は均一な砂でゆるい		
2					砂礫(GS)	暗灰～暗褐～褐～暗褐	中ぐらい		[2.00]φ5～40mmの円・亜円礫主体 [3.00]φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 [4.00]礫間は粒径不均一な砂で充填されている [4.70]2.0m付近まで砂分が多く礫が少ない [5.50]2.0～3.2m間は密実に締まっている [7.00]7.4～7.6m間は礫混じり砂を挟む [8.00]7.9～8.1m間は礫混じり砂を挟む [9.50]7.0m付近まで孔壁崩壊し易いが以深は安定している		01/16 2.20
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10	44.84	9.10	10.70								
11	43.74	1.10	11.80		粘土(CH)	暗褐		中位	含水量少ない 粘性小さいが,深部ほど大きい		
12	43.44	0.30	12.10		礫混じり細砂(FS-G)	淡褐	中ぐらい		粒径不均一な細砂で粘土分が少ない φ5～10mmの円礫点在		
13					粘土混じり砂礫(GS-C)	灰褐～褐	非常に密な		φ5～40mmの円・亜円礫主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 全体に粘土分が多く混じる		
14									13.0m付近に玉石が多い混入		
15									15.0～15.6m間に層厚5cm程度の砂層を薄く挟む 全体に固結の程度が高く非常に締まっている 流紋岩など火成岩が多い		
16											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1/25	1/20		2/45	1
1.60					
2.15	23	23	4/1	50/21	>50
2.36					
3.15	17	10	7	34/30	34
3.45					
4.15	11	24	15/5	50/25	>50
4.40					
5.15	14	16	15	45/30	45
5.45					
6.15	20	19	11/9	50/29	>50
6.44					
7.15	13	8	6	27/30	27
7.45					
8.15	12	13	15	40/30	40
8.45					
9.15	50/9			50/9	>50
9.24					
10.15	42	8/1		50/11	>50
10.26					
11.15	3	3	2	8/30	8
11.45					
12.15	40	10/3		50/13	>50
12.28					
13.15	50/3			50/3	>50
13.18					
14.15	35	15/4		50/14	>50
14.29					
15.15	19	26	5/1	50/21	>50
15.36					
16.15	33	17/5		50/15	>50
16.30					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		3.00	2-1			01/15
		4.00				
		13.00	2.2			01/16
		14.00				

17	38.28	5.16	17.26		粘土混じり砂礫(GS-C)	灰褐～褐	非常に密な		φ5～40mmの円・亜円礫主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mm)の玉石が点在 礫間は粒径不均一な砂で充填されている 全体に粘土分が多く混じる 13.0m付近に玉石が多い混入 15.0～15.6m間に層厚5cm程度の砂層を薄く挟む 全体に固結の程度が高く非常に締まっている 流紋岩など火成岩が多い			16.15 16.30 17.15 17.26	33 41	5 9 1		15 50 11	>50 >50														01/17